

- 夢の様な4年間 (社・トクメイ)
- 1年・2年と華やかな生活であったのが3年・4年となるに従い、自然科学棟のモグラになっていった。(環・宇都宮)
- 勉強したのは最初の2年間であとはマンガや絵ばかり描いていた。(環・大橋)
- 大学は8年間、在学できるのです。大学生の特権はおおいに利用しましょう。(社・土井)
- もう2度と味わえない、と思うと淋しい気がする。(環・塚内)
- 教室にいた時間：サークルBOX にいた時間=1:5 (社・竹原)
- よく遊び、よく旅をし、なんとかクラブをやりとげた。あっという間の4年間でした。(社・佐藤)
- なんとなく過ぎてしまった。卒論は早目に書こう。(環・野村)
- あっという間の4年間であった。特に1~2年の頃は全く無駄にすごしたと思う。(環・山本)
- 休みの日はパチンコばかりやっていた。コスモIIIで私の顔をしらない店員はいない。(環・松尾)
- 法学部の行政法研究会では、レベルが高く、途中なげ出しそうになったけれど、私がなげ出さなかった理由は人の和というところにあると思う。(社・安藤)
- 群になっちゃだめですな。(環・佐藤)
- 書くべき事がないのが残念だ。(情・久野)
- 大学生活の中で一番のウエイトを占めていた。4年間続けたサークルの中でのいろいろな人間関係は、

私にとって非常に貴重なもので、私自身の成長に大きく影響を与えてくれた。大学生活における、喜び、悲しみ、挫折、希望、すべてがサークル活動にあり大切な友人も得た。ぜひサークル活動に参加されることを勧めます。(情・磯田)

• サークルに属することの良さは、他学部の人、他学年の人と知りあいにれること。大学のサークルは高校までとちがって、自主的なことが私にとって大学時代のサークルの存在は大きかったので、みなさんもぜひ何かのサークルに入ったらよいと思う。(情報・岩田)

- やりたい人だけやればいい。(社・トクメイ)
- 奇人集団だったので、4年間たいくつしなかった。(環・宇都宮)

• 皆さんIMD(イラスト・マンガ同好会)にはいりましょう。(環・大橋)

• 大学生活の80%以上を占めていた。クラブ内で知った友人はいつまでも大事にしたい。(環・塚内)

• 大学生活の中で、やはり一番重きを占める。体育系だったこともあり、非常にしんどかったけど、これしかない。(社・佐藤)

• なんのかの手を広げすぎて勉強がおろそかになった。結局5年もかかってしまった。(環・野村)

• 軟式野球同好会所属。同好会であったためか、又練習が週に3~4日しかなく、その他の理由もあって練習の質が低くて高校の時ほどおもしろくなかった。体力も1年間のブランクでかなりおとろえていた。(環・山本)

その5

「私の学生観・職業観」

• 最近の学生は勉強しないとよく言われるが、私の回りでは、あまりあてはまらないように思う。皆、ちゃんと勉強し、なおかつよく遊び、しかも目標をちゃんと定めてゴール目指して頑張っていた。学生というものは……などとえらそうなことは言えないけど、こんなもんでいいんじゃないのかな?でも、“学生の間で遊んでおかなくちゃ!”。“働く”ということは、とても大変なことです。4年になって実感!!。自分の本当にやりたいことを今からしっかりと考えて、3年以下の方々は、就職問題に心してとりこんでください。学生時代の間に来ることは何でもやっちゃいましょう。就職してからじゃ遅い

!。私は未だに就職先も決まらず、もう一年ぐらいバイトして御金をためてもう一度外国旅行をしたい……などと甘い考えでいます。こんなことではダメです。見習わないようにしてください。

(地・女性)

• 私の知る学生の数はそんなに多くはないので、学生観など語る資格はないでしょうが、自分なりに書いてみます。フロンティア精神あるいは開拓精神に欠ける面があるように思います。もっと何事にも挑戦する気持ちで臨んでもらいたい。あまりはめをはずして何かすることがなく、やや覇気に欠ける面があるのでは……?

職業は自分の性格にあったものでありかつやりたいことのできそうなものを僕は薦めます。収入等その職の安定性等言われますが、それは二の次です。また大学で学んだものの生かせる職がいい。職(仕事)によって自分のもつ力を伸ばしていくことが大切ではないでしょうか。(地・村松)

・2年・3年時にもっともっと本を読み、講義以外の勉強をすべきだったと今になって思う。「単位を取るためにのみ、いっしょうけんめいになる必要はなかったのに。」

4年生の時点で就職に関して、「自分は就職しなければならぬのだぞ。」という危機感がなかったことだけは事実である。とかくのんびりやが多いと言われる総合科学部生諸君!!最後はやっぱり、4年間(5年間)で自分は何をやったかははっきり言えるようになって下さい。(環・東)

・学生は、人生を考え、その方向選択のできる時期。職場は、その道へ進むエネルギー源を掘り出す炭坑であり、職業はその道のガードレールである。

(環・谷本)

・生物が、自分に適した環境でのみしか生きられないように、学業・職業ともに、自分に合っているものしか自分にはできないと思う。それ以外の事は、後で思い出してみても「いい経験をした」と思うかもしれないが、やっている当時は地獄の苦しみでしかない。(情・市村)

・学生は金銭的な生活能力があまりないかわりに、責任を負う領域も少なくすむ存在です。ところが私が思うのに、1つ1つ負わされた責任を果たして行ってこそ、人間は大きくなってゆくと、またそういう人間が大きく見えるのです。その意味では、自由奔放な学生生活だけでなく、責任体系の中で物事を処理してゆく学生生活も一部で持った方が良くと思います。(情・佐藤)

・常に真の仲間を求めよ。その眼は外に向かうときもあれば、内なる自己に向かうときもある。

(社・柏)

・職業においては、早くから準備をしておいた方がいいと思う。私の場合、自分の希望通りに行かなかったのだが、その理由はやはり目前にせまらないと何もしないというのが、悪かったのだと思う。就職戦線にもまれて、自分の道を安易に決めないように早くから計画を立てて、それを実行するようにすることが大切だと思う。(地・三戸)

・私の場合は学生生活が何事においても中途半端で

あった気がしてならない。いわばモラトリアム人間を地でいったのではないのでしょうか。

やはり個人個人の自己実現の場であると思います。社会的システムは、複雑多岐に渡っていますが、一人一人の人間が、なぜその職業に就いているかを考えるとあまりに分らない事が多すぎるように思われます。やはり生活のためというだけでなく、自分なりの価値観を反映したものでありたいと思います。

(社・行友)

・現実を否定することはたやすいけど、だれもが賛成する案を求めることは難しい。破壊的に生きるより、常に建設的なものを求めて生きたい。

(環・高岡)

・一定の職業がなく、考える時間、何かをやる時間が豊富にある。人生の中で最も自由な時代、それが学生時代だと思う。自分の中からわき起ってくる何かを大切に、精一杯自由に生きるべきだ。それが後で自分の職業に絶対に生きてくるものだと思える。

(環・梶谷)

・1日は24時間、1年は365日(366日)と時間は限られているのだから、やはり有意義に過したい。そのためには自分が本当にやりたいこと、目標となるものをしっかりもたなくてはダメだ。のんびんだらりと毎日毎日を暮らすのは、絶対に良くない。卒業後、自分は何をしたいかをまず確立することだ。それができないのなら、サークル活動でもいいから何かに没頭すべきだ。何かにひたすら一生懸命になる時期も長い人生のうちには必要だろう。

(環・大藤)

・学生であれ、何であれ、他人との比較よりも、情熱と絶対的な能力をどの領域、分野にしる身につければやっていけるし、その考え方に適応できない立場に身を置くべきではないと思います。

(社・恩田)

・学生はやはり甘い。まだ子供だと思う。ほとんどの人が、多かれ少なかれ親から援助を受けて学生生活を送っている。自分もそうだけど、22才までモラトリアムというのは少し長すぎるような気がする。もっとしっかりしなくては!

私は4年になって、大卒女子の就職がきびしいというのは身をもって感じたけど、企業側が大卒女子の採用をいやがるのには、それなりの理由があるのです。多くの人が、それ程真剣に就職について考えていないのです。この状況は女子ばかりでなく、男子にも、見られるように思うのです。「もし就職が

なければ留年しょう。」とか、「どこでもいいや」というような割にいいかげんな雰囲気があるように思います。もちろんこれは、ほんの一部の人のことですけれど。 (地・椎木)

・総科の学生の特に環境科学についていえば、むやみに公務員志望型人間が多すぎるようです。男なら中小企業で勝負しよう!! もう一言、総科の学生で大学院へ進学する学生が多いのは、学部教育への complex からではないでしょうか? (環・原頭)

・大学の建物が大学じゃないのだから、大学生は、もっともっと大学生、学ぶ人・暇を持つ人として、社会の中で動いていった方がよいと思う。社会のお荷物だけで終わりたいくないなら、それなりのスペースがあっていいと思う。もし自分の生きがいのある職業につく事ができたら、幸せなことだと思う。 (地・佐々木)

・できる限り既成観念にとらわれたくない。が、既成観念もまた、なるほど、と思う。その理由は、いくら短くまとめても、このスペースには書き切れない。 (社・安藤)

・結局、何かを自分でやらねば面白くないのです。私は、一年間休学して、日本一周をしたのですが、よい経験になったと思っております。遊べるときに、遊びましょうね。 (情・久野)

・社会を何も知らなかった入学当時に較べて、大学4年間で、ずい分と社会勉強をしたと思っている。しかし、やはり学生というのは社会の中において、特殊な存在であり、甘く見られている。「まあ、学生だから」ということでいろいろな責任をまぬがれていたり、大目にみられている点に甘えていたとも思う。これから社会に出てからが本当の人生の勉強だと、そう考えている。 (情・磯田)

・学生はやっぱり、何かにつけて甘えがあると思う。しかし、それに甘んじてても大学時代は大いに遊び、学び、失敗してみたらよいと思う。そして、社会にでたら今までの経験を生かしてりっぱな社会人になったらいいと思います。 (情・岩田)

・社会に出ると、世間一般の常識に縛られるため、

大学にいううちにいわゆる非常識なことを、少なくとも1回はやってみるべきだと思います。

(環・宇都宮)

・大学は学問をする場所ではなく、自分のこれからやりたいことを見つかる場所である。(環・大橋)
 ・学生はガキ、職業につくとオジン。(環・佐藤)
 ・4年間、講義で学んだことは社会に出て何も役に立たない。職業を決める時は、親よりも指導教官に相談した方が、的確な情報が得られると思う。

(環・松尾)

・温室の中で、好きなことをやれる身分。

(社・佐藤)

・学生……創造的失業者

職業人……生物的労働者

(社・竹原)

・学生観といっても、これと言って浮かばないのだが、酒を飲めてもタバコが喫えても、学生はまだまだ半人前だな一と思う。

職業観、ナシ。当たって砕けろ!の一言。

(環・塚内)

・学生観……大学生はやろうと思えば何でもできるし、また好きなことをやっている人もたくさんいるであろう。しかし自分を含めて、今の学生は何事も適当で中途半端なところがあると思う。1つでも自信を持って「自分は学生時代~をやってきました!」と言えるべきだし、そうなりたいと思う。

職業観……自分のやりたいことが、そのまま職業またはそれに関連していればよいと思うのだが、最近どうもそううまくはいきそうもないので考慮中である。

(環・山本)

・学生観……まだ一人の社会人として自他共に認めることはないだろう。学生は、どっぷりとぬるま湯につかっていて、試験になるとあわてふためく。これの繰り返しだと思う。しかし、甘えず、独立する日のために力をつけるべき時代であると思う。

職業観……さて、私はというとうまくすれば4月から教師であるが、一生を左右することだから、自分で責任もって初めて、そのための努力をしなければならぬと思う。

(情・藤井)

その6

「後輩に薦めたい講義」

。一般教育科目

講義題目	分野	教官名	薦めたい理由
日本史 アメリカ史	人 文 "	渡 辺 志 邨	歴史好きの人、そうでない人も興味をもって聞けそうです。 とにかく毎時間、ノートに書くことがいっぱい苦しい授業。しかしこの授業をうければ、今までバラバラに頭に入っていた人名や事件が一つにみごとにつながってくる。ただし試験もかなりむずかしいので腹を決めてかかること。
環境地理学 日本国憲法	" 社 会	福 岡 間 田	おもしろいよ。 日本の法の基本がわかる。おもしろくて4回もうけた。いや5回だったかな。
経済学A 統計学	" "	山 下 高 崎 間 瀬	授業がうまく構成されており、非常にわかりやすいと思う。 現在、その必要性に気づき、取らなかったことを後悔している。
地質学I	自 然	多 井	教官の人間味あふれた授業がきける。余談がほのぼのとしていて、心が豊かになる。
微積分学 力学A・熱学 A・電磁学A 行動生理学 生態学	" " " "	水 本 竹 之 内 小 林 三 寺	なめらかな口調。明快な説明。 先生の「熱意」というものが感じられる。 興味をひく進め方です。 環境科学を学ぶ者の必須科目。これからの社会、社会分野、自然分野を総合して考えられる人材が要求される。しかも、特定技術者としてではなく、一般教養として身につけておかねばならない知識として必要とされるのであろう。社会分野と自然分野を結びつける基本的な概念を身につけるには、三寺教官の生態学は聴講するに値する。
生態学・進化 学 実験類 生命の科学 人間と環境	" " 総合科目 "	根 平	精力的な講義のし方がいい。文系の人間にも具体的でよくわかる。 教官の人柄がしのばれるすばらしい授業だと思う。 一般で一生けん命勉強するのは実験ぐらいだ。 いろいろな先生の専門の話がきけて、とてもためになる。 様々な分野の話が聞ける。総科のいろいろな先生を知ることができる。
アメリカ文明 の特質	"		地域研究の場合、自分が学んでみようとする地域の概観を試みることは必要であろうし、1年生時に専門コース的なものを学ぶことも必要と思われるから。また総合科学部らしい講義。
戦争と平和に 関する総合的 考察	"		今日の平和をめぐる重要な問題点について従来の学問領域を超えた総合科学部的な視点でまとめている。盛りあわせがバラエティに豊かである。
ドイツ語I ドイツ語 フランス語文 法 創作技法演習 洋画	外 国 語 " " " 特別科目	西 村 三 木 坂 本 難 波	文法の解説がわかりやすい。人間的にいい人だった。 自分の中のマゾ的部分を開花させてくれた。 とればわかる。 英作文がおもしろくなる。 本当に「楽しく、自由に」絵が描けます。

・専門教育科目

コース	講座・群	教官名	講義題目
地域文化	共通 アジア研究 英米研究 比較文化研究	村上・米田 小林 石井 久野	地域研究実習 中国史 アメリカ政治経済研究 比較哲学
社会文化	I 群 " " " II 群	森 関 伊藤 芝 田村	現代国際政治論 平和学 法社会学論 社会科学方法論 行政法 I、II
情報行動科学	情報行動基礎 " " 人間行動 "	天野 前野 藤原 宗岡	計算機実験 分子発生学 組合せ理論など他2つ 社会行動論 神経行動学・感覚生理学
環境科学	I 群 II 群 III 群 " " IV 群 " " " " "	松田 大荒 倉石 武森 津端 高橋 栃木 多井 " 福岡 根平・福岡	量子力学 エレクトロニクス 天然物化学 A 環境生理学 分子生物学 都市環境学 生態系論学 砂防学 砂防学・地すべり学 地質学 II 古環境学 大気環境学 環境科学野外調査 A

4年間をふり返って—卒業生にきく—

その1

「アドバイスのないアドバイス」

今度の『飛翔』は新入生も読むことになるらしいので、卒業生として、なにかアドバイスなどを書こうと思うのだが何も思い浮かばない。だからその言いわけとして、「アドバイス通りにするよりも、自分の思う通りにすきなようにやって、失敗してもそ

れでいいではないか。」などと思ったりする。

総合科学部の新入生は、自分の専門分野について縛られていないことを利用して、やりたいことは何でもできる。しかし、何か自分でやっていかないと何もしないで終る。4年間は長いと思ってもすぐ終